

グローバル・ハイブリッド 証券ファンド (為替ノーヘッジ型)

【運用報告書(全体版)】

第17作成期 (2020年6月13日から2020年12月14日まで)

第 **97** 期 / 第 **98** 期 / 第 **99** 期
決算日2020年7月13日 決算日2020年8月12日 決算日2020年9月14日

第 **100** 期 / 第 **101** 期 / 第 **102** 期
決算日2020年10月12日 決算日2020年11月12日 決算日2020年12月14日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2012年6月27日から2024年6月12日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として世界の金融機関（関連会社等含む）が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 グローバル・サブオーディネイテッド・デット・セキュリティーズ・ファンド（アンヘッジクラス） 世界の金融機関（関連会社等含む）が発行するハイブリッド証券等 マネープール・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■世界の金融機関が発行するハイブリッド証券を実質的な主要投資対象とします。 ■投資対象である外国投資信託の組入資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として世界の金融機関（関連会社等含む）が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
第13 作成期		円	円	%	%	%	百万円
	73期(2018年7月12日)	6,807	70	0.8	0.0	98.5	1,179
	74期(2018年8月13日)	6,658	35	△1.7	0.0	97.8	1,129
	75期(2018年9月12日)	6,695	35	1.1	0.0	97.6	1,026
	76期(2018年10月12日)	6,692	35	0.5	0.0	97.5	980
	77期(2018年11月12日)	6,669	35	0.2	0.0	90.4	971
	78期(2018年12月12日)	6,518	35	△1.7	0.1	90.2	923
第14 作成期	79期(2019年1月15日)	6,313	35	△2.6	0.1	91.2	865
	80期(2019年2月12日)	6,420	35	2.2	0.1	90.8	869
	81期(2019年3月12日)	6,459	35	1.2	0.1	97.6	850
	82期(2019年4月12日)	6,518	35	1.5	0.0	98.2	838
	83期(2019年5月13日)	6,383	35	△1.5	0.1	94.2	818
	84期(2019年6月12日)	6,339	35	△0.1	0.0	97.8	793
第15 作成期	85期(2019年7月12日)	6,319	35	0.2	0.1	97.1	768
	86期(2019年8月13日)	6,141	35	△2.3	0.1	97.7	723
	87期(2019年9月12日)	6,198	35	1.5	0.1	97.4	698
	88期(2019年10月15日)	6,228	35	1.0	0.1	98.1	695
	89期(2019年11月12日)	6,230	35	0.6	0.0	90.1	687
	90期(2019年12月12日)	6,216	35	0.3	0.1	97.9	668
第16 作成期	91期(2020年1月14日)	6,270	35	1.4	0.1	90.6	671
	92期(2020年2月12日)	6,233	35	△0.0	0.1	90.8	664
	93期(2020年3月12日)	5,863	35	△5.4	0.2	97.5	624
	94期(2020年4月13日)	5,836	35	0.1	0.1	90.2	608
	95期(2020年5月12日)	5,782	35	△0.3	0.1	89.8	602
	96期(2020年6月12日)	5,933	35	3.2	0.2	97.3	613
第17 作成期	97期(2020年7月13日)	5,928	35	0.5	0.2	98.3	596
	98期(2020年8月12日)	6,051	35	2.7	0.2	98.2	605
	99期(2020年9月14日)	6,008	35	△0.1	0.2	97.4	594
	100期(2020年10月12日)	5,943	35	△0.5	0.2	90.5	582
	101期(2020年11月12日)	5,913	35	0.1	0.2	90.4	574
	102期(2020年12月14日)	5,896	35	0.3	0.2	97.8	563

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
		円	騰 落 率		
第97期	(期 首) 2020年6月12日	5,933	—	0.2	97.3
	6月末	5,970	0.6	0.2	90.6
	(期 末) 2020年7月13日	5,963	0.5	0.2	98.3
第98期	(期 首) 2020年7月13日	5,928	—	0.2	98.3
	7月末	5,990	1.0	0.2	97.7
	(期 末) 2020年8月12日	6,086	2.7	0.2	98.2
第99期	(期 首) 2020年8月12日	6,051	—	0.2	98.2
	8月末	6,024	△0.4	0.2	90.2
	(期 末) 2020年9月14日	6,043	△0.1	0.2	97.4
第100期	(期 首) 2020年9月14日	6,008	—	0.2	97.4
	9月末	5,940	△1.1	0.2	98.1
	(期 末) 2020年10月12日	5,978	△0.5	0.2	90.5
第101期	(期 首) 2020年10月12日	5,943	—	0.2	90.5
	10月末	5,851	△1.5	0.2	98.6
	(期 末) 2020年11月12日	5,948	0.1	0.2	90.4
第102期	(期 首) 2020年11月12日	5,913	—	0.2	90.4
	11月末	5,900	△0.2	0.2	97.7
	(期 末) 2020年12月14日	5,931	0.3	0.2	97.8

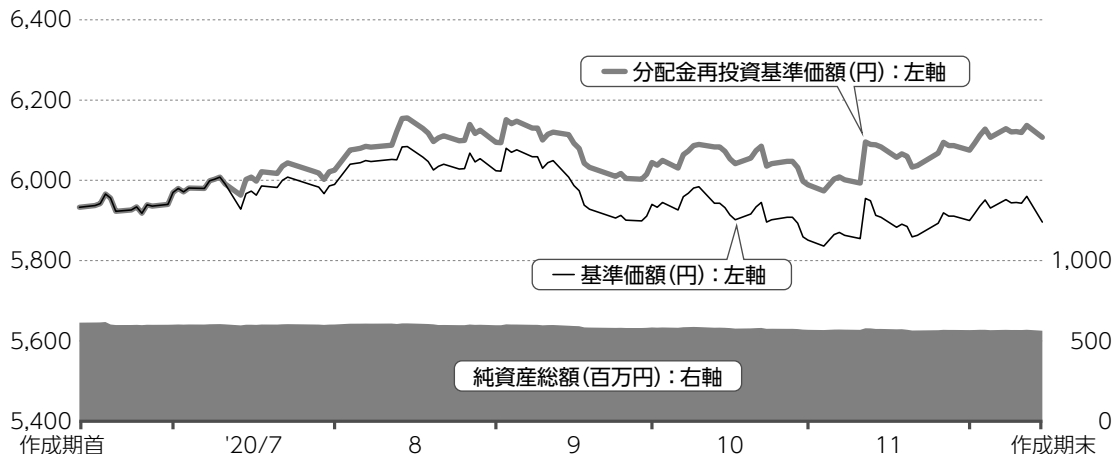
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年6月13日から2020年12月14日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	5,933円
作成期末	6,106円 (当作成期分配金210円(税引前)込み)
騰落率	+2.9% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因（2020年6月13日から2020年12月14日まで）

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として世界の金融機関（関連会社等含む）が発行するハイブリッド証券に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 大手金融機関で、規制強化を背景とした財務健全化が前期から継続していること
- 欧州が総じて低金利の状況であったこと
- 投資家のリスク選好姿勢などを背景に、ハイブリッド証券市場が堅調に推移したこと
- 英ポンド、ユーロが円に対して上昇したこと

下落要因

- 作成期を通してみると米ドルが対円で下落したこと

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・ファンド(アンヘッジドクラス)	世界のハイブリッド証券	97.8%
マネープール・マザーファンド	短期金融資産	0.2%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2020年6月13日から2020年12月14日まで）

当作成期のハイブリッド証券市場は上昇しました。為替市場では、米ドルは円に対して下落した一方、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。

ハイブリッド証券市場

作成期初、F R B（米連邦準備制度理事会）が社債の買入れや中小・中堅企業向け融資支援などの金融政策を決定したことを好感し、株価が上昇したことで、ハイブリッド証券市場も上昇して始まりました。その後も、新型コロナウイルス向けの治療薬やワクチン開発についての発表や報道が相次いだことなどを背景に、世界的に株式市場が底堅い展開となる中、ハイブリッド証券市場も堅調に推移しました。8月以後も、良好な経済指標の発表が相次いだことを市場は好感し、堅調地合いが続きしました。

しかし、9月以後、米国株式市場の上昇をけん引してきた主力IT銘柄が売り込まれたことをきっかけに、主要株価指数が揃って大幅反落となり、ハイブリッド証券市場も反落しました。さらに、新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、英国など欧州主要国で経済活動規制が再び強化されたことから、銀行株など景気敏感株が売られる中、ハイブリッド証券市場は軟調な展開となりました。

10月に入り、トランプ米大統領が追加景気支援策の一部について実施を急ぐ意向を示したことを好感し、株価が上昇する中、ハイ

ブリッド証券市場も上昇しました。その後も、英国とEU（欧州連合）の通商交渉について決裂回避の見方が広がったことや、米国の追加景気支援策の与野党合意への期待から、ハイブリッド証券市場は続伸しました。その後は新型コロナウイルス感染再拡大により世界経済の回復が遅れるとの懸念から、上値の重い展開となり、月後半には、欧州を中心に世界的に株価が下落する中、ハイブリッド証券市場も下落する展開となりました。11月に入ると、米国大統領・議会選挙の結果を受けた政治的不透明感の後退や、追加の景気支援策への期待から、投資家のリスク選好姿勢が強まり、欧米で株価が上昇する中、ハイブリッド証券市場も堅調な展開となりました。

当作成期の市場の動きをICE BofAML Euro Subordinated Financial Index（現地通貨ベース）でみると、作成期首に比べ6.09%上昇しました。

為替市場

米ドル・円相場は作成期初より7月半ばにかけて、107円台前半を中心とした狭いレンジで推移しました。しかし、7月下旬に、米中対立の激化や新型コロナウイルスの感染再拡大

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

などを背景としたリスク回避的な動きが進展し、米ドルは急落しました。8月に入り、株高や米金利上昇などを背景に中旬にかけて米ドル高・円安となりましたが、その後は軟調な米国経済指標などから、米ドルは下落する展開となりました。

9月に入り、概して横ばいで推移していましたが、中旬には、ハイテク株主導で米国株式市場が下落したこともあり、米ドルは急落しました。10月上旬にかけては、株価上昇などから、リスク回避的な動きが幾分後退し、米ドルは上昇しました。その後は世界的な株安などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、米ドルは一時下落する局面もありましたが、11月中旬から作成期末にかけては、株価の回復などを背景に米ドルが反発しました。

ユーロ・円相場は、良好なユーロ圏の経済指標や欧州復興基金の設立合意を受けてリスク選好的な動きとなり、8月まで概してユーロ高で推移しました。その後、ECB（欧州中央銀行）高官によるユーロ高けん制発言な

どから一時ユーロが下落する場面がありましたが、11月以降は、ワクチンの開発期待などからユーロは再び上昇しました。

英ポンド・円相場は、作成期初より9月上旬にかけ、良好な英国経済指標などが追い風となり上昇しました。その後は、EUとの通商交渉で進展が見られないことや感染再拡大などから投資家のリスク回避姿勢が強まり、英ポンドは対円で下落しました。11月から作成期末にかけては、米国での選挙結果を受けた政治的不透明感の後退や、ワクチン開発期待から再び上昇しました。

当作成期の米ドル・円は、作成期首の106円69銭から作成期末の104円04銭と2円65銭の米ドル安・円高、ユーロ・円は作成期首の120円38銭から作成期末の126円09銭と5円71銭のユーロ高・円安、英ポンド・円は作成期首の133円96銭から作成期末の138円37銭と4円41銭の英ポンド高・円安となりました。

ポートフォリオについて（2020年6月13日から2020年12月14日まで）

当ファンド

作成期を通じて、主要投資対象である「グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・ファンド（アンヘッジドクラス）」を高位に組み入れることにより、実質的に世界の金融機関（関連会社等含む）が発行するハイブリッド証券に投資を行いました。

グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・ファンド（アンヘッジドクラス）

当ファンドは、世界の金融機関等が発行するハイブリッド証券のうち、主に投資適格銘柄の組入れによる運用を行いました。作成期中の資金流入に対しては、相対的に投資魅力度が高いと判断された新規銘柄の組入れや、

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

既存保有銘柄の積み増しを図りました。一方、資金流出に対しては、市場へのインパクトや取引コストを最小限に抑えるよう慎重に組入銘柄の売却を行い、対応しました。また、相対価値比較での銘柄入替えなどを一部行い、ポートフォリオの利回り向上を図りました。

●国別配分

作成期中の国別配分は、作成期初、フランスに最も多く配分し、次いでイギリス、米国

に配分しました。作成期中、イギリスの配分を増やし、作成期末の配分は順に、イギリス、フランス、米国としました。

マネープール・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2020年6月13日から2020年12月14日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年6月13日から2020年12月14日まで)

当作成期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ35円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
当期分配金	35	35	35	35	35	35
(対基準価額比率)	(0.587%)	(0.575%)	(0.579%)	(0.585%)	(0.588%)	(0.590%)
当期の収益	29	35	28	32	28	31
当期の収益以外	5	—	6	2	6	3
翌期繰越分配対象額	868	870	864	861	855	852

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き「グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・ファンド(アンヘッジドクラス)」を高位に組み入れることにより、実質的に世界の金融機関(関連会社等含む)が発行するハイブリッド証券に投資を行います。

グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・ファンド(アンヘッジドクラス)

米国大統領・議会選挙の結果を受けた政治的不透明感の後退、新型コロナウイルスワクチンの開発進展等のニュースなどを受けてリスク資産が買われる展開が続いています。確かに、ワクチン開発の進展は良いニュースですが、世界的に新規感染者数が急増している現在、その承認時期、ワクチン接種の開始時期等が特に注目されます。時期が遅れるほど、感染拡大の収束が遅れ、経済にはマイナスの影響が大きくなるため、期待は大きいものの、慎重にその動向を見守る必要があります。ユーロ圏では、コロナウイルスの感染再拡大が止まらず、行動制限が継続しています。そのような中、ECB(欧州中央銀行)は追加金融緩和を決めました。コロナ危機に対応する

資産購入の特別枠(PEPP)を現在の1兆3,500億ユーロから5,000億ユーロ増額し、1兆8,500億ユーロとすることが柱です。また、同枠での資産購入の期限も2021年6月末から2022年3月末へと延長しました。

このような中、米国での次期政権への移行作業の遅れや、英国のEU離脱交渉を巡る不透明感、感染再拡大による世界経済への悪影響などを背景に、投資家がリスク回避姿勢を強めた際、ハイブリッド証券市場もその影響を受けることが予想されますが、投資対象企業のクレジットファンダメンタルズ(信用力に関する基礎的条件)が総じて良好であること、また、市場規模の縮小継続による希少性から需給面での下支えも期待できるという状況にも大きな変化がないことから、中長期的には底堅い展開が予想されます。引き続き、個別証券の諸条件、市場の動向にはより注視しますが、基本的には現状の組入銘柄を中心に、相対価値比較から一部銘柄の入替え等も考慮に入れ、ファンドの信託期間における利回りの向上を図る方針です。

マネープール・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細（2020年6月13日から2020年12月14日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	40円	0.675%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.108	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	46	0.787	

期中の平均基準価額は5,945円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

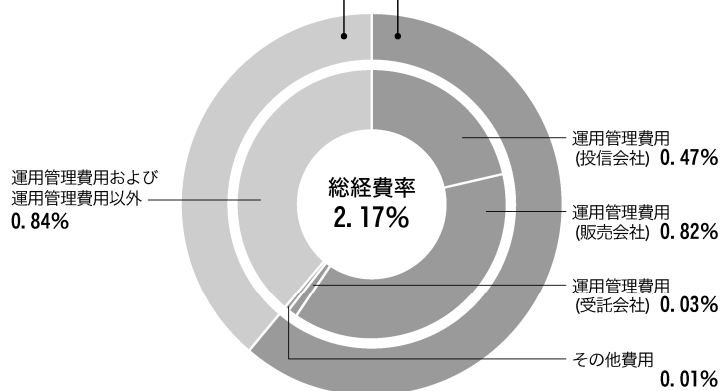
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

参考情報 総経費率（年率換算）

■ 投資先ファンドの費用 0.84% ■ 当ファンドの費用 1.33%



総経費率 (■ + ■)	2.17%
■ 当ファンドの費用の比率	1.33%
■ 投資先ファンドの費用の比率	0.84%

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は2.17%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2020年6月13日から2020年12月14日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・ファンド（アンヘッジドクラス）	183,700,179	166,000	234,732,052	211,365
	合 計	183,700,179	166,000	234,732,052	211,365

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年6月13日から2020年12月14日まで)

利害関係人との取引状況

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

マネープール・マザーファンド

区 分	当 作 成 期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公 社 債	百万円 269,210	百万円 27,564	% 10.2	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月13日から2020年12月14日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2020年12月14日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作成期首	作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
グローバル・サブオーディネイティド・デット・ セキュリティーズ・ファンド(アンヘッジドクラス)	口 664,518,375	口 613,486,502	千円 551,156	% 97.8
合 計	664,518,375	613,486,502	551,156	97.8

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	作成期首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マ ネ ー プ ール ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 1,026	千口 1,026	千円 1,027

※マネープール・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は354,526,881千口です。

※単位未満は切捨て。

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

■ 投資信託財産の構成

(2020年12月14日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	551,156	97.1
マネープール・マザーファンド	1,027	0.2
コール・ローン等、その他	15,245	2.7
投資信託財産総額	567,428	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年7月13日) (2020年8月12日) (2020年9月14日) (2020年10月12日) (2020年11月12日) (2020年12月14日)

項 目	第97期末	第98期末	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末
(A) 資 産	600,905,127円	612,452,977円	599,212,804円	587,653,147円	579,321,964円	567,428,630円
コール・ローン等	13,245,218	17,128,277	19,344,667	59,853,016	58,750,483	15,244,398
投資信託受益証券(評価額)	586,631,642	594,296,536	578,839,973	526,772,069	519,543,419	551,156,273
マネープール・マザーファンド(評価額)	1,028,267	1,028,164	1,028,164	1,028,062	1,028,062	1,027,959
(B) 負 債	4,209,474	6,991,025	4,670,026	5,436,577	4,697,343	4,016,537
未払収益分配金	3,522,926	3,502,003	3,463,347	3,428,644	3,401,108	3,344,659
未払解約金	-	2,825,024	478,096	1,406,980	643,061	4,589
未払信託報酬	682,769	660,495	724,018	596,655	649,615	663,853
未払利息	30	45	49	150	137	31
その他未払費用	3,749	3,458	4,516	4,148	3,422	3,405
(C) 純資産総額(A-B)	596,695,653	605,461,952	594,542,778	582,216,570	574,624,621	563,412,093
元 本	1,006,550,561	1,000,572,431	989,527,867	979,612,775	971,745,243	955,616,968
次期繰越損益金	△ 409,854,908	△ 395,110,479	△ 394,985,089	△ 397,396,205	△ 397,120,622	△ 392,204,875
(D) 受益権総口数	1,006,550,561口	1,000,572,431口	989,527,867口	979,612,775口	971,745,243口	955,616,968口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,928円	6,051円	6,008円	5,943円	5,913円	5,896円

※当作成期における作成期首元本額1,034,529,848円、作成期中追加設定元本額5,340,221円、作成期中一部解約元本額84,253,101円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

■ 損益の状況

(自2020年6月13日 至2020年7月13日) (自2020年7月14日 至2020年8月12日) (自2020年8月13日 至2020年9月14日) (自2020年9月15日 至2020年10月12日) (自2020年10月13日 至2020年11月12日) (自2020年11月13日 至2020年12月14日)

項 目	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
(A) 配 当 等 取 益	3,606,181円	3,865,322円	3,529,059円	3,794,270円	3,456,142円	3,678,141円
受 取 配 当 金	3,607,554	3,865,914	3,530,512	3,795,074	3,457,335	3,680,895
支 払 利 息	△ 1,373	△ 592	△ 1,453	△ 804	△ 1,193	△ 2,754
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	43,184	12,600,817	△ 3,594,103	△ 6,152,442	△ 2,332,638	△ 1,370,372
売 買 益	5,952,051	18,816,254	2,272,045	45,635	496,611	33,371
売 買 損	△ 5,908,867	△ 6,215,437	△ 5,866,148	△ 6,198,077	△ 2,829,249	△ 1,403,743
(C) 信 託 報 酬 等	△ 686,268	△ 663,897	△ 728,534	△ 599,893	△ 653,037	△ 667,159
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	2,963,097	15,802,242	△ 793,578	△ 2,958,065	470,467	1,640,610
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△241,811,243	△240,717,153	△225,682,241	△227,425,201	△231,695,759	△230,470,700
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△167,483,836	△166,693,565	△165,045,923	△163,584,295	△162,494,222	△160,030,126
(配 当 等 相 当 額)	(26,884,323)	(26,775,729)	(26,530,990)	(26,314,396)	(26,158,639)	(25,781,182)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△194,368,159)	(△193,469,294)	(△191,576,913)	(△189,898,691)	(△188,652,861)	(△185,811,308)
(G) 計 (D + E + F)	△406,331,982	△391,608,476	△391,521,742	△393,967,561	△393,719,514	△388,860,216
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,522,926	△ 3,502,003	△ 3,463,347	△ 3,428,644	△ 3,401,108	△ 3,344,659
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△409,854,908	△395,110,479	△394,985,089	△397,396,205	△397,120,622	△392,204,875
追 加 信 託 差 損 益 金	△167,483,836	△166,693,565	△165,045,923	△163,584,295	△162,494,222	△160,030,126
(配 当 等 相 当 額)	(26,884,323)	(26,775,729)	(26,530,990)	(26,314,396)	(26,158,639)	(25,781,182)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△194,368,159)	(△193,469,294)	(△191,576,913)	(△189,898,691)	(△188,652,861)	(△185,811,308)
分 配 準 備 積 立 金	60,520,443	60,327,346	58,968,661	58,112,335	57,006,948	55,699,096
繰 越 損 益 金	△302,891,515	△288,744,260	△288,907,827	△291,924,245	△291,633,348	△287,873,845

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
(a) 費用控除後の配当等収益	2,928,104円	3,709,599円	2,800,627円	3,194,455円	2,803,181円	3,011,045円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	26,884,323	26,775,729	26,530,990	26,314,396	26,158,639	25,781,182
(d) 分配準備積立金	61,115,265	60,119,750	59,631,381	58,346,524	57,604,875	56,032,710
(e) 分配可能額 (a+b+c+d)	90,927,692	90,605,078	88,962,998	87,855,375	86,566,695	84,824,937
1万口当たり分配可能額	903	905	899	896	890	887
(f) 分配金額	3,522,926	3,502,003	3,463,347	3,428,644	3,401,108	3,344,659
1万口当たり分配金額(税引前)	35	35	35	35	35	35

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第97期	第98期	第99期	第100期	第101期	第102期
	35円	35円	35円	35円	35円	35円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・ファンド（アンヘッジドクラス）
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	世界の金融機関（関連会社等含む）が発行するハイブリッド証券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、世界の金融機関（関連会社等含む）が発行するハイブリッド証券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指します。ただし、普通社債ならびに事業法人が発行するハイブリッド証券に投資を行う場合があります。 ・投資対象とするハイブリッド証券等は、主要格付会社のいずれかにより、取得時においてBBB一格相当以上の格付けを付与されている銘柄とします。なお、取得後に格付けがBBB一格相当未満に下がった場合、市場動向および銘柄分析等による投資判断に基づき、当該銘柄の保有を継続することがあります。 ・原則として対円での為替ヘッジを行いません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・同一発行体の証券への投資は、原則として純資産総額の10%以内とします。 ・有価証券の空売りは行いません。
決算日	年1回決算（毎年12月31日）
分配方針	毎月4日（休業日の場合は前営業日）に分配を行う方針。
運用報酬等	純資産総額に対して年0.57%* *年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
管理およびその他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	0.3%
投資顧問会社	UBPインベストメンツ株式会社
副投資顧問会社	ユニオン バンケール プリヴェ ユービーピー エスエー
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・ファンド（アンヘッジドクラス）」をシェアクラスとして含む「グローバル・サブオーディネイティド・デット・セキュリティーズ・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書 (2019年1月1日から2019年12月31日まで)

(単位：円)

営業収入	
投資収益	136,667,800
損益を通じて公正価値で測定する金融資産および負債の 実現純利益／（損失）	38,709,614
損益を通じて公正価値で測定する金融資産および負債の 未実現利益／（損失）の純変動	116,261,752
純為替差益／（差損）	(12,184,566)
償還手数料収入	7,962,094
営業収入合計	<u>287,416,694</u>
営業費用	
管理報酬	18,688,373
保管報酬	2,184,235
年間規制手数料	933,407
事務代行報酬	8,658,619
名義書換代行手数料	745,025
監査報酬	2,820,648
専門家報酬	227,290
サービス費用	203,401
弁護士報酬	84,579
営業費用合計	<u>34,545,577</u>
営業利益（損失）	252,871,117
金融費用	
銀行当座借越の支払利息	172,943
償還権付き受益証券保有者への分配	(445,835,132)
分配後および税引前損失	<u>(192,791,072)</u>
営業による償還権付き受益証券保有者に帰属する純資産の減少	<u>(192,791,072)</u>

グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ノーヘッジ型）

■ 主要投資銘柄（上位30銘柄）（2019年12月31日）

国・地域	銘柄名	種類	利率(%)	償還期限	比率(%)
オランダ	ING BANK NV	期限付劣後債	5.8000	2023/9/25	3.1
ドイツ	HANNOVER FINANCE SA	期限付劣後債	5.0000	2023/6/30	3.0
イギリス	AVIVA PLC	期限付劣後債	3.8750	2024/7/3	2.9
フランス	SOCIETE GENERALE	期限付劣後債	5.0000	2024/1/17	2.9
オーストラリア	AUST & NZ BANKING GROUP	期限付劣後債	4.5000	2024/3/19	2.8
日本	SUMITOMO MITSUI FINANCIA	期限付劣後債	4.4360	2024/4/2	2.8
日本	NIPPON LIFE INSURANCE	期限付劣後債	5.0000	2022/10/18	2.8
スウェーデン	SVENSKA HANDELSBANKEN AB	期限付劣後債	1.2500	2023/3/2	2.7
スイス	CLOVERIE PLC (SWISS RE C	期限付劣後債	4.5000	2024/9/11	2.6
スイス	ARGENTUM (SWISS LIFE)	永久劣後債	4.3750	2025/6/16	2.6
フィンランド	NORDEA BANK ABP	期限付劣後債	1.0000	2024/6/27	2.6
イギリス	LLOYDS BANK PLC	期限付劣後債	7.6250	2025/4/22	2.5
オランダ	ABN AMRO BANK NV	期限付劣後債	6.2500	2022/4/27	2.5
日本	MIZUHO FIN GRP CAYMAN 3	期限付劣後債	4.6000	2024/3/27	2.5
フランス	BANQUE FED CRED MUTUEL	期限付劣後債	3.0000	2024/5/21	2.5
アメリカ	WELLS FARGO & COMPANY	期限付劣後債	4.1250	2023/8/15	2.5
ノルウェー	DNB BANK ASA	期限付劣後債	1.2500	2022/3/1	2.5
ベルギー	KBC GROUP NV	期限付劣後債	1.8750	2022/3/11	2.3
スウェーデン	SKANDINAVISKA ENSKILDA	期限付劣後債	1.3750	2023/10/31	2.2
フランス	BPCE SA	期限付劣後債	5.1500	2024/7/21	2.2
イギリス	STANDARD CHARTERED PLC	期限付劣後債	5.2000	2024/1/26	2.2
アメリカ	GOLDMAN SACHS GROUP INC	期限付劣後債	4.2500	2025/10/21	2.1
アメリカ	CITIGROUP INC	期限付劣後債	4.4000	2025/6/10	2.1
フランス	BNP PARIBAS	期限付劣後債	4.3750	2025/9/28	2.1
アメリカ	BANK OF AMERICA CORP	期限付劣後債	4.2000	2024/8/26	2.1
フランス	CREDIT AGRICOLE SA	期限付劣後債	4.3750	2025/3/17	2.1
イギリス	HSBC HOLDINGS PLC	期限付劣後債	4.2500	2024/3/14	2.1
アメリカ	MORGAN STANLEY	期限付劣後債	5.0000	2025/11/24	1.8
アメリカ	JPMORGAN CHASE & CO	期限付劣後債	4.2500	2027/10/1	1.8
オーストラリア	COMMONWEALTH BANK AUST	期限付劣後債	4.5000	2025/12/9	1.8
全銘柄数			53銘柄		

※償還日は、繰上償還条項が付与されている場合、原則として繰上償還発効日を記載しています。

※比率は純資産総額に対する割合

マネープール・マザーファンド

第11期（2019年10月16日から2020年10月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2009年10月30日）
運用方針	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
7期(2016年10月12日)	10,048	△0.0	96.0	427,847
8期(2017年10月12日)	10,041	△0.1	95.9	470,433
9期(2018年10月12日)	10,032	△0.1	16.6	440,044
10期(2019年10月15日)	10,023	△0.1	96.1	411,156
11期(2020年10月12日)	10,014	△0.1	93.4	354,336

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

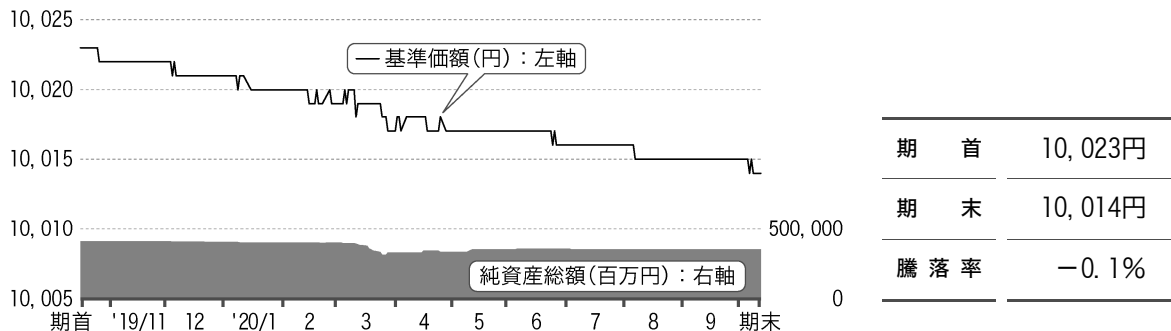
年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2019年10月15日	10,023	—	96.1
10月末	10,022	△0.0	96.2
11月末	10,022	△0.0	95.3
12月末	10,021	△0.0	47.8
2020年1月末	10,020	△0.0	95.2
2月末	10,019	△0.0	92.7
3月末	10,017	△0.1	38.8
4月末	10,017	△0.1	35.4
5月末	10,017	△0.1	38.6
6月末	10,016	△0.1	92.8
7月末	10,016	△0.1	97.4
8月末	10,015	△0.1	92.4
9月末	10,015	△0.1	92.8
(期末)			
2020年10月12日	10,014	△0.1	93.4

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

基準価額等の推移



▶ 基準価額の主な変動要因 (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

当期の短期金利は上昇しました。

物価上昇率の伸びが徐々に鈍化したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を据え置き、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から、年末越えの運用ニーズが徐々に落すとともに上昇基調となり、12月初旬に-0.10%近辺となった後、横ばい圏で推移しました。

2月下旬から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、3月にはリスク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まり、3月下旬に利回りは一時

-0.40%台まで低下しました。ただし、過度な国債需給の引き締まりに対し、日銀が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転じました。

その後は政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりました。しかし、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回りは一服しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.290%に対し、期末は-0.090%へ上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2019年10月16日から2020年10月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2019年10月16日から2020年10月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	2円 (2)	0.016% (0.016)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	2	0.016	

期中の平均基準価額は10,018円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2019年10月16日から2020年10月12日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	37,489,129,478	37,473,188,492 (120,680,000)
	地方債証券	117,230,641	— (57,141,700)
	特殊債証券	17,248,984	— (36,223,100)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年10月16日から2020年10月12日まで)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 330,495	百万円 63,658	% 19.3	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2019年10月16日から2020年10月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

マネープール・マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2020年10月12日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	235,290,000 (235,290,000)	235,303,469 (235,303,469)	66.4 (66.4)	— (—)	— (—)	— (—)	66.4 (66.4)
地 方 債 証 券	80,116,930 (80,116,930)	80,278,776 (80,278,776)	22.7 (22.7)	— (—)	— (—)	— (—)	22.7 (22.7)
特 殊 債 券 (除く金融債)	15,174,800 (15,174,800)	15,225,380 (15,225,380)	4.3 (4.3)	— (—)	— (—)	— (—)	4.3 (4.3)
合 計	330,581,730 (330,581,730)	330,807,626 (330,807,626)	93.4 (93.4)	— (—)	— (—)	— (—)	93.4 (93.4)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
		%	千円	千円	
国 債 証 券	第923回 国庫短期証券	—	10,290,000	10,290,174	2020/10/19
	第923回 国庫短期証券※	—	140,000,000	140,002,800	—
	第925回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,000,370	2020/10/26
	第926回 国庫短期証券	—	15,000,000	15,000,855	2020/11/2
	第928回 国庫短期証券	—	15,000,000	15,001,155	2020/11/9
	第929回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,000,970	2020/11/16
	第931回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,001,200	2020/11/24
	第938回 国庫短期証券	—	10,000,000	10,002,360	2020/12/21
	第943回 国庫短期証券	—	15,000,000	15,003,585	2021/1/18
	小 計		—	235,290,000	235,303,469
地 方 債 証 券	第690回 東京都公募公債	1.29	500,000	501,160	2020/12/18
	第691回 東京都公募公債	1.24	700,000	701,561	2020/12/18
	第692回 東京都公募公債	1.35	1,300,000	1,303,159	2020/12/18
	第693回 東京都公募公債	1.38	100,000	100,588	2021/3/19
	第694回 東京都公募公債	1.35	1,360,600	1,368,423	2021/3/19
	第695回 東京都公募公債	1.2	300,000	301,530	2021/3/19
	第696回 東京都公募公債	1.19	100,000	100,801	2021/6/18
	第697回 東京都公募公債	1.11	750,000	755,595	2021/6/18
	第698回 東京都公募公債	1.05	300,000	302,118	2021/6/18
	第699回 東京都公募公債	1.02	1,200,000	1,211,220	2021/9/17
	第701回 東京都公募公債	0.99	1,700,000	1,715,419	2021/9/17
	第11回2号宮城県公募公債(5年)	0.101	2,580,000	2,580,232	2020/11/27

マネープール・マザーファンド

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
	第12回1号宮城県公募公債(5年)	0.001	100,000	99,988	2021/7/27
	平成22年度第9回 静岡県公募公債	0.946	300,000	300,105	2020/10/26
	平成22年度第11回 静岡県公募公債	1.008	1,523,910	1,525,723	2020/11/25
	平成22年度第13回 静岡県公募公債	1.316	301,000	302,739	2021/3/24
	平成23年度第3回 静岡県公募公債	1.193	103,290	104,038	2021/5/25
	平成23年度第5回 静岡県公募公債	1.158	200,000	201,622	2021/6/28
	平成23年度第6回 静岡県公募公債	1.201	170,000	171,569	2021/7/23
	平成22年度第15回 愛知県公募公債(10年)	1.316	150,000	150,387	2020/12/24
	平成22年度第16回 愛知県公募公債(10年)	1.245	100,000	100,362	2021/1/28
	平成22年度第18回 愛知県公募公債(10年)	1.383	100,000	100,507	2021/2/25
	平成22年度第19回 愛知県公募公債(10年)	1.398	200,000	201,276	2021/3/30
	平成23年度第3回 愛知県公募公債(10年)	1.212	250,000	251,857	2021/5/27
	平成23年度第4回 愛知県公募公債(10年)	1.182	1,900,000	1,915,732	2021/6/28
	平成23年度第7回 愛知県公募公債(10年)	1.11	600,000	605,220	2021/7/29
	平成23年度第11回 愛知県公募公債(10年)	1.03	1,000,000	1,010,590	2021/10/28
	平成25年度第13回 愛知県公募公債(7年)	0.435	100,000	100,003	2020/10/15
	平成26年度第2回 愛知県公募公債(7年)	0.357	1,500,000	1,502,670	2021/4/23
	平成22年度第6回 広島県公募公債	1.26	806,000	808,869	2021/1/25
	平成23年度第1回 広島県公募公債	1.19	385,630	388,441	2021/5/27
	平成23年度第3回 広島県公募公債	1.1	400,000	404,156	2021/9/27
	平成27年度第6回 広島県公募公債(5年)	0.053	4,310,000	4,310,474	2021/2/25
	平成22年度第10回 埼玉県公募公債	1.26	300,000	301,098	2021/1/28
	平成22年度第11回 埼玉県公募公債	1.28	100,000	100,469	2021/2/25
	平成23年度第2回 埼玉県公募公債	1.19	400,000	402,892	2021/5/25
	平成23年度第4回 埼玉県公募公債	1.2	700,000	706,538	2021/7/27
	平成23年度第6回 埼玉県公募公債	1.02	400,000	404,184	2021/10/27
	平成27年度第10回 埼玉県公募公債(5年)	0.053	5,200,000	5,200,572	2021/2/25
	平成28年度第2回 埼玉県公募公債(5年)	0.02	100,000	100,000	2021/4/15
	平成22年度第5回 福岡県公募公債	0.94	300,000	300,120	2020/10/28
	平成22年度第8回 福岡県公募公債	1.29	320,000	320,809	2020/12/24
	平成23年度第5回 福岡県公募公債	1.02	1,100,000	1,111,440	2021/10/25
	平成23年度第1回 福岡県公募公債	1.18	300,000	302,481	2021/6/28
	平成27年度第8回 福岡県公募公債	0.101	5,870,000	5,871,232	2021/1/20
	平成28年度第2回 福岡県公募公債	0.001	900,000	899,892	2021/7/20
	平成27年度第1回 奈良県公募公債	0.101	3,440,000	3,440,344	2020/11/30
	平成22年度第6回 大阪市公募公債	1.03	230,000	230,239	2020/11/19
	平成23年度第4回 大阪市公募公債	1.178	450,000	454,054	2021/7/22
	平成23年度第6回 大阪市公募公債	1.071	350,000	353,430	2021/9/16
	平成27年度第5回 大阪市公募公債(5年)	0.101	5,100,000	5,100,459	2020/11/25
	平成27年度第7回 大阪市公募公債(5年)	0.101	5,000,000	5,001,150	2021/1/26
	第22回 名古屋市公募公債(5年)	0.101	6,400,000	6,400,512	2020/11/20
	第23回 名古屋市公募公債(5年)	0.005	100,000	99,993	2021/6/18
	第473回 名古屋市公募公債(10年)	1.29	291,000	291,675	2020/12/18
	第476回 名古屋市公募公債(10年)	1.029	200,000	201,886	2021/9/17
	第2回 京都市公募公債(7年)	0.449	1,600,000	1,601,376	2020/12/25
	平成27年度第6回 京都市公募公債	0.021	3,200,000	3,200,000	2021/3/25
	平成28年度第1回 京都市公募公債	0.001	300,000	299,964	2021/7/20
	平成28年度第3回 京都市公募公債	0.001	100,000	99,985	2021/9/29
	平成27年度第6回 神戸市公募公債(5年)	0.101	3,200,000	3,200,032	2020/10/19
	平成22年度第4回 横浜市公募公債	0.947	100,000	100,040	2020/10/28

マネープール・マザーファンド

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	平成22年度第6回 横浜市公募公債	1.312	200,000	200,870	2021/2/12
	平成22年度第5回 横浜市公募公債	1.265	600,000	601,224	2020/12/11
	平成23年度第1回 横浜市公募公債	1.189	200,000	201,438	2021/5/24
	平成23年度第2回 横浜市公募公債	1.201	200,000	201,792	2021/7/15
	第43回 横浜市公募公債(5年)	0.101	5,000,000	5,000,350	2020/11/17
	平成22年度第2回 福井県公募公債	1.4	275,500	277,511	2021/4/23
	平成27年度第3回 福井県公募公債	0.101	1,900,000	1,900,171	2020/11/27
	平成22年度第1回 岡山県公募公債(10年)	1.05	300,000	300,414	2020/11/30
	小 計	-	80,116,930	80,278,776	-
特 殊 債 券 (除く金融債)	第15回 政府保証地方公共団体金融機構債券(6年)	0.167	260,000	260,226	2021/3/19
	第17回 政府保証地方公共団体金融機構債券	0.9	306,000	306,067	2020/10/21
	第19回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.2	600,000	601,272	2020/12/14
	第22回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.3	572,000	575,157	2021/3/12
	第26回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.1	400,000	403,456	2021/7/16
	第29回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.0	100,000	101,056	2021/10/18
	第25回 政府保証日本政策投資銀行社債	0.147	300,000	300,063	2020/11/25
	第27回 政府保証日本政策投資銀行社債	0.11	200,000	200,096	2021/2/12
	第2回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.8	600,000	602,286	2020/12/27
	第6回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.9	500,000	503,625	2021/2/26
	第120回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	3,669,200	3,670,851	2020/10/30
	第122回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.9	1,121,000	1,122,390	2020/11/30
	第124回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	2,038,500	2,043,779	2020/12/28
	第126回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	350,000	351,288	2021/1/29
	第129回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	765,000	768,534	2021/2/26
	第132回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	310,000	311,788	2021/3/19
	第133回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	588,600	592,908	2021/4/30
	第135回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	536,500	540,362	2021/5/31
	第137回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	943,000	951,354	2021/6/30
	第139回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	100,000	100,908	2021/7/30
	第149回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	215,000	217,537	2021/11/30
	第33回 政府保証日本政策金融公庫債券	0.15	400,000	400,028	2020/10/27
	第34回 政府保証日本政策金融公庫債券	0.128	100,000	100,060	2021/2/25
	第211回 政府保証預金保険機構債	0.1	200,000	200,284	2021/10/19
	小 計	-	15,174,800	15,225,380	-
	合 計	-	330,581,730	330,807,626	-

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※末尾に※印のある銘柄は、現先で保有している債券です。

■ 投資信託財産の構成

(2020年10月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	330,807,626	93.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	23,936,839	6.7
投 資 信 託 財 産 総 額	354,744,465	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

マネープール・マザーファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年10月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	354,744,465,126円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	23,798,899,190
公 社 債 (評 価 額)	330,807,626,423
未 収 利 息	124,662,708
前 払 費 用	13,276,805
(B) 負 債	408,294,828
未 払 金	404,360,000
未 払 利 息	59,784
そ の 他 未 払 費 用	3,875,044
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	354,336,170,298
元 本	353,828,408,194
次 期 繰 越 損 益 金	507,762,104
(D) 受 益 権 総 口 数	353,828,408,194口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,014円

※当期における期首元本額410,225,615,973円、期中追加設定元本額55,902,202,499円、期中一部解約元本額112,299,410,278円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年10月16日 至2020年10月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	412,597,435円
受 取 利 息	440,002,485
支 払 利 息	△27,405,050
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△664,066,520
売	△664,066,520
買	△664,066,520
(C) 信 託 報 酬 等	△59,193,164
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△310,662,249
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	931,365,749
(F) 追 加 信 託 損 益 金	98,627,501
(G) 解 約 差 損 益 金	△211,568,897
(H) 計 (D + E + F + G)	507,762,104
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	507,762,104

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ 当期末における、元本の内訳は以下の通りです。

SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(ブラジルリアル)	144,000,000円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジあり)	239,199円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(南アランド)	3,474,833円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 資産成長型(為替ヘッジなし)	39,857円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(中国元)	12,046,048円	アッシュモア新興国短期社債ファンド 資産成長型(為替ヘッジあり)	229,232円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(豪ドル)	50,000,000円	BNPパリバ・グローバル金融機関ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)	1,485,087円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(円)	11,000,000円	三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド(為替ヘッジあり)	279,064円
三井住友・公益債券投信(毎月決算型)	8,874,310円	三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド(為替ヘッジなし)	1,275,775円
グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジ型)	4,305,812円	米国優先リートファンド(為替ヘッジあり)	1,953,537円
SMBC・日興ニューワールド債券ファンド(円)	11,000,000円	米国優先リートファンド(為替ヘッジなし)	2,960,215円
三井住友・公益債券投信(資産成長型)	941,890円	三井住友DS・DCターゲットイヤーファンド2050	897,182円
日興グラビティ・ヨーロッパ・ファンド	9,958,176円	三井住友DS・DCターゲットイヤーファンド2060	329,342円
アッシュモア新興国短期社債ファンド 毎月分配型(為替ヘッジなし)	39,857円	SMAM・アセットバランスファンドVA25L3<適格機関投資家限定>	353,573,052,153円

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。